

令和〇〇年度食のみやこ鳥取県推進事業計画書
 -とっとりオリジナル加工品づくり支援事業関係-

1 事業の目的

鳥取県〇〇町の特産物である〇〇を活用した〇〇（加工品名）を試作中であり、今後改良を重ねて商品化していきたい。
 20才代から40才代の女性をターゲットとした商品化を目論んでおり、味、値段、パッケージのニーズを把握するため、〇〇大学、〇〇専門学校、スーパー等でモニタリングを実施することで商品化に向けた改良を重ねる。
 商品は、県内の量販店、〇〇大学及び〇〇専門学校の売店、観光施設での販売を計画している。

2 事業の内容及び経費の配分

項目	内 容	補助対象 経 費 (算定基準額 A+B+C)	負 担 区 分		
			県 (A)	市町 村 (B)	その他 (C)
新商品の開発	新商品開発に向けた打合せを行う。 現在試作中の〇〇（加工品名）に改良を重ねて商品化する。 ・試作材料費、会場借上料、食糧費、パッケージデザイン版下作成費	125,000	62,500		62,500
成功事例の視察研修	〇〇（加工品名）を商品化して、量販店に広く販売している〇〇県〇〇地域の取組みを視察し、販路開拓の手法等を学びたい。 ・視察の旅費、視察先への謝金	15,000	7,500		7,500
消費者対象モニタリングの実施	〇〇（大学名、専門学校名、量販店名、観光施設名）に試作品を置き、モニタリングを実施する。 その結果を試作品改良の一助とする。 ・アンケート用紙作成代	10,000	5,000		5,000
県内量販店等での試食・販売PRの実施	商品化した〇〇（加工品名）を〇〇（大学名、専門学校名、量販店名、観光施設名）に置き、のぼり、ポップを掲げて試食、販売PRを行う。 ・PR資材作成費	150,000	75,000		75,000
合 計		300,000	150,000		150,000

(注) 1 内容欄に期間、内容等の詳細を記入すること。
 2 事業実績の概要が把握できる写真、報告書等の成果物を添付すること。（ただし、「ごはんを食べよう学校給食支援事業」を除く。）

3 他の補助金の活用の有無（有・無）

(注) 他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をすること。
 「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先）を記載すること。

[]

4 消費税の取り扱い（一般課税事業者・簡易課税事業者・免税事業者）

※消費税の取り扱いについて「一般課税事業者」、「簡易課税事業者」、「免税事業者」のいずれかに○をすること。

5 事業完了年月日

令和 年 月 日

※事業完了年月日とは、補助目的を達成し、かつ、補助対象経費の額が確定した日とする。

令和〇〇年度食のみやこ鳥取県推進事業収支予算書

1 収入の部

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減		備 考
			増	減	
県補助金	円 150,000	円 0	円 150,000	円	
市町村補助・負担金					
その他補助・負担金	150,000	0	150,000		
計	300,000	0	300,000		

2 支出の部

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減		備 考
			増	減	
(新商品開発) ・試作材料費 ・会場借上料 ・食糧費 ・パッケージデザイン版下作成費	円 125,000	円 0	円 125,000	円	
(視察研修) ・旅費、謝金	15,000	0	15,000		
(モニター等実施) ・アンケート用紙作成代	10,000	0	10,000		
(試食販売PR) ・PR資材作成費	150,000	0	150,000		
計	300,000	0	300,000		

3 添付書類

事業実施主体の組織構成が明らかになる書類

実績報告書を提出の際は、補助対象経費について、支払毎に経費区分、支払金額、支払先、支払日、支払方法を記載した一覧表を添付すること。ただし、支払件数が多数であることなどによりこれによりがたい場合は、証ひょう書の写しの保管などで代えることができる。

また、必要に応じて購入機器等の写真等を添付すること。